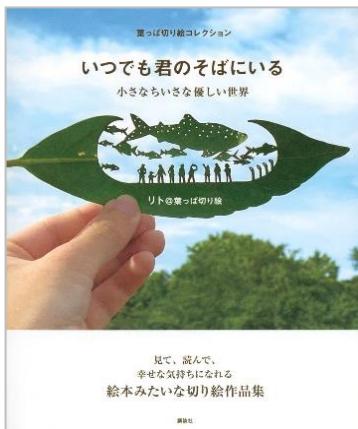




新刊書案内

書名	著者名
優しい死神は、君のための嘘をつく	望月くらげ
黒牢城	米澤 穂信
おもろい以外いらんねん	大前 栗生
ミカエルの鼓動	柚月 裕子
闇祓	辻村 深月
最強脳—『スマホ脳』ハンセン先生の特別授業—	アンデシュ・ハンセン
倒産続きの彼女	新川 帆立
月曜日の抹茶カフェ	青山 美智子
鑑定人 氏家京太郎	中山 七里
葉っぱ切り絵コレクション いつでも君のそばにいる 小さなちいさな優しい世界	リト@葉っぱ切り絵
塞王の楯	今村 翔吾
告白予行練習 東京サマーセッション2021	香坂 茉里
5分後に妖しい異世界のラスト (5分シリーズ)	エブリストア
僕がモンスターになった日 (1・2)	時田 とおる
王様ゲーム	金沢 伸明
5分後に妖しい異世界のラスト (5分シリーズ)	エブリストア

「1枚の葉っぱの上に広がる温かい物語に心癒される」



空に透かして撮影された葉っぱ切り絵。
落ち込んでいるとき。
心がモヤモヤするとき。
さみしいとき。
1枚1枚が絵本作品のような葉っぱ切り絵作品集は、ページをめくるたびに、そこに自分だけの物語を見つけるはずです。



「はじめまして、僕は死神です。君の魂をもらいにきました。」

病室で目を覚ました真尋に、死神は、三十日以内に命が尽きることを告げる。ずっと一人ぼっちだった真尋にとって、死ぬことは何も怖くない…はずだった。しかし優しい死神と日々言葉を交わすうちに、どんどん彼に惹かれていく。もっと生きたい。けれど、無情にも運命の日は訪れてしまう。そんな真尋に、死神は今までついていた“嘘”を告白しはじめる——。

この縁は、きっと宝物になる——。

川沿いの桜並木のそばに佇む喫茶店「マーブル・カフェ」。その「マーブル・カフェ」が定休日の月曜日に、1度だけ、「抹茶カフェ」を開くことに。人は知らず知らずのうちに、誰かの背中を押していることに気づく。一杯の抹茶から始まる、東京と京都をつなぐ、12ヶ月の心癒やされるストーリー。



あいつらが来ると、人が死ぬ。



「うちのクラスの転校生は何かがおかしい——」

クラスになじめない転校生・要に、親切に接する委員長・澪。そんな彼女に要は不審な態度で迫る。唐突に「今日、家に行っていい?」と尋ねたり、家の周りに出没したり……。ヤバい行動を繰り返す要に恐怖を覚えた澪は先輩に助けを求める。身近にある名前を持たない悪意が増殖し、迫ってくる。

一気読みエンタテインメント!

どんな攻めをも、はね返す石垣。
どんな守りをも、打ち破る鉄砲。

匪介は絶対に破られない
「最強の楯」である石垣を作れば、戦を無くせると考えていた。
元康は、「至高の矛」たる鉄砲を作って皆に恐怖を植え付けることこそ、戦の抑止力になると信じる。
大軍に囮まれ絶体絶命の大津城を舞台に、宿命の対決が幕を開ける——。
「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、究極の戦国小説!



試験休み(3/1~)・春休み中は閉館します。

(ただし3/4・18の午前中は開館)

春休み後の返却日は4月11日です。